

# 「安心・活力・発展プラン2005」 第1回発展部会 委員発言要旨

日時:平成26年7月9日(水)10:30~12:30

場所:オアシスホテル7-3階「紅梅の間」

No.	項目	発言要旨
1	人口減少	大分県はこれまで企業誘致を進めてきたが、あくまでも地域に働く若者がいることが前提であると思う。これからは企業誘致だけでなくその前提として人材誘致も必要。
2		人口減少社会を見据え、地域に若者をいかにして呼び込むかが重要。
3		人口減少の問題は全県的にしっかりと向き合っていくべき課題である。
4	子育て	働く時間が長くなり、くたくたになって家に帰ってきているので、子育て家庭において家庭が成り立っておらず、子育てに喜びを実感できていないと思う。
5	雇用・人材育成	在宅就業等により、企業を下支えする仕事を女性や高齢者が担うことができるような仕組みづくりができないか。(電子化、ペーパーレス化など)
6		大学生の就職について、企業は効率化が最優先で人材を育成する時間が無い一方で大学側は実学に乏しいため、その部分を行政が間を取り持つことが必要ではないか。
7		地元企業も即戦力ばかりを求めるのではなく、新卒を採用し、根気強く人を育てるという意識を企業に植え付けることが重要。
8		子どもの就職率は上がっているが定着率はどうか。例えば県の公共工事等の入札のうち何%かを企業の人材育成費用に充てるような要件を講じるなど、あらゆる事業において「人材育成」という費目を計上してもよいのではないか。
9	ものづくり	商品(もの)は技術だけでは売れなくなってきている。商品を作り、売り切るまでの教育を徹底させることが重要。商品のブランド化だけではなく、商品が消費者の元へ着地するまでの戦略を明確にしなければならない。
10	教育	「地縁、支援、応援」という3つの「えん」という言葉がある。地域で人材を作っていくだけでなく、行政が金銭的、制度的な支援を行い、加えて外部からの応援が必要になってくる。これら3つの「えん」を繋いでローカルで活躍できる人材を育て、グローバルな世界に送り出していくことが必要。
11		「3つ子の魂百まで」と言うように、幼児期の教育が最も重要。まず幼稚園の3年間をしっかりと育てて小学校へ送り出さないとその先に繋がっていかない。子どもを育てるためには家庭を育てることが重要。
12		大分県の教育予算は九州内でも低い方と思う。学力だけでなく子どもの情操教育を支えていけるような施策立案、予算配分をお願いしたい。
13		先生がいじめや子どもの不満について公平にものを見て解決につなげることができていないケースが多いように感じる。

No.	項目	発言要旨
14	青少年の健全育成	学校や行政、家庭だけに頼ることなく地域全体で若者たちのやり直しがきくような地域、社会づくりが必要。
15		学校で不登校となった生徒がそのまま卒業した場合に、そのまま関係が切れてしまうのではなく地域のサポートセンターに繋いでいくなど、不登校生徒がそのままひきこもりやニートにならないよう継続的な支援が必要。
16		大分のひきこもりとニートの数がそれぞれ5千人いるということをニュースで見たが、生産年齢人口が20万人減少する中でこの1万人という数は大切だと思う。このような若者達にもう1歩踏み込んで地域に出てきていただくような施策が必要。
17	芸術文化	クリエイティブシティ化は全ての政策に横串を刺すイメージ。クリエイティブ大分という視点を長計の柱に据えていければと考えている。
18		県内の小学生6万人を美術館に招待する予定だが、美術館だけでなく(音響設計という工学的な要素も含む)劇場の方も併せてPRしてほしい。
19		美術館や図書館の無償での開放や招待などによりできるだけ垣根を取り払い、美術館や図書館が近くにない子ども達等にも参加しやすいような仕組みづくりをお願いしたい。
20	芸術文化 ツーリズム	県立美術館で地方の工芸作家やアーティストの作品が展示、販売されると思うが、それを契機に国東等の地方のギャラリー等にも人が流れていくような動線ができればいいと思う。
21	ツーリズム	東九州自動車道の開通を見据え、例えば観光についてはどう周遊ルートを確認していくかなどが重要。
22	NPO	NPOはボランティアの位置付けとされているが、協働という立場をよく理解してほしい。政策企画という目に見えにくい部分にも予算化していただけるような配慮をしてほしい。
23	交通	大分空港の有効活用として、空港間の連携、広域的な人の移動というものも議論の対象になると思う。その他、南海トラフ地震を見据えたバックアップルートの確保ということも視野に入れておかないといけない。
24	IT化	大分が観光分野でアピールしていく上で、特に公共施設や観光施設におけるWi-Fi環境整備による利便性の向上が重要。
25		情報技術の発展に伴うリスク、セキュリティ、情報モラル教育が重要。情報技術に依存するのではなく、自分の能力をどう拡張させるのかといった視点での教育やモラルの啓蒙がポイントになる。
26		大分県は情報インフラの整備は進んでいるが、これからは利活用等ソフト面での対応が重要になってくると思う。ブロードバンド普及率もかなり進んできているが、ICTの技術を役立たせるためには、物理的に厳しい地域に普及させることが一番のポイントと思う。